



町政の執行方針 当別町長 泉●俊彦

就任以来、二度目の予算編成となりましたが、地方自治体の生命線である交付税の激減の中、我がまち「当別」を如何に引き継いでいくのかが、今の私に課せられた責務であると強く感じています。

当別には町民が誇れる、豊かな田園や山河、道都札幌と直結のJRや国道、医療大学や道民の森、スウェーデンヒルズ等の素晴らしい社会資本があり、これらを活かして付加価値を高める施策が、まちづくりの将来に繋がるものと考え、ゆつたりとした広い敷地で、子育てや老後を豊かな気持ちで送ってもらうような環境を提供する方策の一つとして優良田園住宅の計画を立て、心の癒しを求めていると言われる都市住民に広くアピールしたいと考えております。また、新築住宅の固定資産税の減免を実施し町の活性化を図り、人口増に繋げたいと考えております。

※町長・教育長の所信表明から、抜粋しています。

重点施策

環境に配慮した

美しいまちづくりの推進

8ページ
1参照



茂平沢での草刈り

「美しいまちづくりをみんなで行く条例」制定後、昨年は各地域で

住民が主体となった様々な取り組みが行われ、地域の魅力を高めていく意欲が強く感じられました。

新年度は将来に続く美しいまちづくりが誰にでもイメージできるように、「美しいまちづくりのための基本計画」を2力年で作成します。

また、条例に基づいた「当別町美しいまちづくり推進補助金交付規則」を制度化し、地域住民の自主的な取り組みに支援をまいります。

さらに、住民一人ひとりが原点から学ぶ機会を設けてフォーラムを開催するなど、環境に配慮した美しいまちづくりを進めます。

支え合う

地域福祉づくり

8ページ
5参照
9ページ
2参照



本町の65歳以上の高齢者の総人口に占める割合は18.5%で、年々高くなってきています。

このため、本町が長年手厚く実施してきた「68歳・69歳の高齢者医療費助成」など、福祉・医療関係の各種単独事業の見直しと、受益者にも費用の一部を負担していただくこととしました。

また、65歳以上の介護保険料と国民健康保険税を改定することにしました。

一方、土・日曜、祝祭日と夜間の「救急医療体制」を年間5千万円以上の予算で地元医療機関に委託していましたが、深夜の利用者が少ないことから医師会と協議し、診療時間を短縮して3千万円の経費の軽減を図りました。

ゴミ減量化と リサイクル施策の推進

8ページ
2参照



町民一人当たりのゴミの排出は、毎日911グラム（卵20個くらい）で、一般ゴミの年間処理量は、6,818トンにも及びます。

処理費は年間約2億円で、町民一人当たり、毎日およそ30円を町が負担していることになります。

ゴミの減量化は、「ゴミを出さない・繰り返し使う・リサイクルすること」を柱に、町民と事業者が一体となって取り組む必要があります。

新年度は、ペットボトル・ビン・カン・廃蛍光管・乾電池の分別収集に積極的に取り組み、リサイクルとゴミの減量化を進めます。

また、事業系ゴミについてはこれまで、北石狩衛生施設組合の中

で当別町のみが全額負担していましたが、10月から事業系ゴミの有料化を実施することで、ゴミの再利用・再資源化・減量化を図ります。

農業の持続と 資源循環の推進



現在当別町では、全水田面積のわずか28%しか作付けされておらず、国営かんがい事業を推進してきた本町としては、水田農業の将来に極めて大きな危惧を抱いています。

そのため、農業者の指導的立場にある農協や土地改良区などと協力し、産地形成など当別全体の農業の在り方を綿密に協議する場を設けてまいります。

一方、農村の持つ「豊かな自然や

美しい景観」は、都市住民に安らぎと潤いを与える場としても期待されているため、多面的機能を発揮できる地域用水機能増進事業を土地改良区とともに実施します。

さらには、消費者から食の安全が確保できる産地として評価を得るため、循環型農業の推進を図ります。

学ぶ環境の 充実



町民全てが学ぶ意欲を大切に、創意と工夫に満ちた柔軟な発想が生まれる環境づくりなどの条件整備が大事であると考えています。

生涯学習社会を築くため、幼児教育、学校教育、成人・女性教育、高齢者教育、家庭教育などが繋がりを持つて一体的な活動を図るこ

とができるよう、教育委員会と連携を深め、各種の施策を推進します。

中心商店街 活性化の推進

8ページ
4参照

近年、空き店舗などが出てくることにより商店街の形態が変化し、その役割が問われてきています。

町民が集う憩いの場として、空店舗を活用した商店街活性化センター「あえくる」や「まちの駅アウル」を整備し、地域の自発的活動に利用されてきたところです。

引き続き、住民同士の触れ合いや情報発信などで市街地の新しい魅力づくりを商工会と協議してまいります。

